

(仮称)津山小学校の学校づくりに関する意見集約結果について(要点整理後)

・ 第4回の会議での意見等をもとに、「学校像」、「児童像」、「統合小学校に望むこと等」の区分で要点を整理したもの。

意見等の区分	意見等の要点
統合校の学校像に関すること (どのような学校にしたいか)	<p>子どもたちが心身ともに健康で、笑って登校できる学校</p> <p>活気ある学校</p> <p>分け隔てなく明るく元気な学校</p> <p>のびのびと優しい子どもが育つ学校</p> <p>いじめが無い、児童・先生・保護者が繋がり合える学校</p> <p>木の町津山を活かした雰囲気のある学校</p> <p>木の温もりあふれる学校</p> <p>子どもたちが生き生きと学ぶ学校</p> <p>あいさつや笑顔あふれる学校</p> <p>両校の歴史を忘れないように両校の良い所を取り入れた学校</p> <p>家庭、学校、地域が三位一体で取り組み地域に信頼され愛される学校</p> <p>安心して通える学校</p> <p>地域の伝統や歴史を勉強しながら、自然の中で元気に育てる学校</p>
統合校の児童像に関すること (どのような子どもに育てほしいか)	<p>仲間意識を持って、差別偏見なく、新しい友達をつくってほしい。</p> <p>住んでいる地域は関係なく、同じ小学校の児童として切磋琢磨してほしい。</p> <p>将来社会に出て、自分の故郷への思いを忘れないように育てほしい。</p> <p>明るく元気にのびのびと思いやりのある子ども</p> <p>みんなと協力しながら成長していける子ども</p> <p>心身ともに健康で、心豊かでたくましく生きる子ども</p> <p>友達と自然を大切にできる子ども</p> <p>お互いを思いやり、尊重し合う子ども</p> <p>人の命を大切にできる子ども</p> <p>津山町を誇りに思う子ども</p> <p>進んで学ぶ子ども</p>
統合小学校に望むこと、重視してほしい教育、取り組んでほしい活動等	<p>少人数でも一人一人を大切に、子どもたちと向き合ってほしい。</p> <p>人の大切さ、教育を受ける大切さ、食べ物がある大切さなど、普通に感じることができていることへの大切さを子どもたちに学んでほしい。</p> <p>豊かな自然を活かしながらの教育、地域や自然を取り入れた学習活動、机上の勉強では身につかない地域性を生かした体験(農業や林業、地域の産業、文化、歴史)</p> <p>横山小学校のみどりの少年団や柳津小学校のふるさと農業少年団のように、自然を愛する、自然を理解する、津山の良さを理解できるような教育</p> <p>地域を大切にしながら地域以外への広い視野を持てるような教育、他校との交流、幅広い人材との交流、ボランティア活動</p> <p>自主性の育成、学力向上や体力づくり・運動能力の底上げ</p> <p>将来の一人一人の自信となるような少人数を活かした特色ある教育(スポーツ・美術・音楽・プログラミング・国際交流など)</p> <p>ネットでの授業や向き合ったコミュニケーションの必要性</p> <p>柳津小学校と横山小学校のそれぞれの良い所を残し、新入生・在校生が戸惑うことがないようにしてほしい。</p> <p>打ち囃子や獅子舞などの横山、柳津のそれぞれの伝統芸能の継承(伝統文化の継承はそれぞれの地域の子どもたちがこれまで同様に行ってほしい。)</p> <p>学校、保護者、地域の方々の連携を密にし、共通認識を持つこと</p> <p>図書室を今より大きくしてほしい。</p> <p>災害、事故、事件等への対策、安心安全な学校生活</p> <p>スクールバス利用が増え、徒歩での登校による交通マナーを知らないまま育つ子どもが増えるため、一定の距離を歩く経験を積むことも大切であり、学校までの送迎ではなく支所で乗降させ交通マナーを教えていく。</p> <p>スクールバスと保護者の送迎車の乗降場所を区分してほしい。</p> <p>学童の充実、子ども会の規模・活動の見直し</p>

(仮称)津山小学校の学校づくりに関する意見集約結果

第4回津山地域開校準備委員会各委員から報告された意見集約結果及び各委員の意見等

団体等	意見の区分	意見等
津山中学校	どのような学校にしたいか	せまい町内で、二つの地域の子どもたちが集まるため、合併後にトラブル等が発生することもあるかもしれないが、子どもたちが心身ともに健康で、笑って登校できる学校を目指してほしい。 学校、保護者、地域の方々の連携を密にし、共通認識を持つことが大事だと考える。 活気ある学校をつくってほしい。 分け隔てなく明るく元気な学校になれば良いと思う。 のびのびと優しい子どもが育つ学校にしてほしい。
柳津小学校	統合する小学校では、どのような子どもたちに育ってほしいと思いますか	明るく元気にのびのびと思いやりのある子ども みんなと協力しながら成長していける子ども 友達と自然を大切にできる子ども 津山町を誇りに思う子どもたち 横山、柳津と住んでいる地域は関係なく、統合して、同じ小学校の児童として切磋琢磨してほしい。
	統合する小学校で取り組んでほしい活動等	体力づくりの活動 地域や自然を取り入れた学習活動 スポーツを取り入れた学習活動やボランティア活動 打ち囃子や獅子舞などの伝統芸能は続けてほしい。
柳津小学校	統合小学校に望むこと、重視してほしい教育	地域を大切にしながら、地域以外への広い視野を持てるような教育を希望する。 他校との交流、幅広い人材との交流 人の大切さ、教育を受ける大切さ、食べ物がある大切さなど、普通に感じることができていることへの大切さを子どもたちに学んでほしい。 伝統文化の継承は、それぞれの地域の子どもたちが、これまで同様に行ってほしいと思う。 学力の向上 豊かな自然を活かしながらの教育 ネットでの授業や向き合ったコミュニケーションの必要性
	どのような子どもたちに育ってほしいか	仲間意識を持って、差別偏見なく、新しい友達をつくってほしい。 尊重し合ってほしい。 思いやり
横山小学校	統合する小学校で取り組んでほしい活動	横山、柳津でのそれぞれの伝統芸能について継承してほしい。 その他にも地域の産業や文化、歴史なども含まれている。
	統合小学校に望むこと	思いやりのある子どもに育ってほしい。 地域の学習の活動 運動能力の底上げ 安心安全な学校生活
つやま杉の子 こども園	学校・教育について	一人一人の学力や運動面での向上に力を入れてほしい。 それぞれの良い所を残しつつ、新入生・在校生が戸惑うことがないようにしてほしい。 両校の良い所を取り入れた学校になればと思う。統合しても両校の歴史を忘れないようにしてほしい。 机上の勉強では身につかない地域性を生かした体験をさせてほしい。 少人数でも一人一人を大切に、子ども達と向き合ってほしい。 少人数を活かした、特色のある教育を何か一つでも取り入れてほしい。将来の一人一人の自信となるように。スポーツ・美術・音楽・プログラミング・国際交流など。 いじめが無いのはもちろんですが、児童・先生・保護者が繋がり合える小学校
	通学について	通学バスを利用する子が増える。 歩いて登校という、交通マナーを知らないまま育つ子も増える。 学校までの送迎ではなく、支所で乗降させ交通マナーを教える。 一定の距離を歩く経験を積むことも大切だと思う。 バス通学増えるので、バスと保護者の送迎車の乗降する場所を区分してほしい。
	生活環境・学校設備について	木の町津山を活かした学校の雰囲気を目指して欲しい。 こども園とまではいきませんが、木の温もりあふれる学校づくり。 統合されるので図書室を今より大きくしてほしい。 災害、事故、事件等への対策。安心、安全な環境。
	その他	学童の充実、山の上では通うのは大変である。(冬の送迎も危ない。) 子ども会の規模、活動なども見直しほしい。
	各委員意見	横山小学校にはみどりの少年団、柳津小学校にはふるさと農業少年団というものがあった。 校名(案)の応募理由にも、北上川、横山のウグイなどの津山の自然環境がとても良いというもの、津山杉が全国的に有名だというのが多くあった。 津山では、横山小学校のみどりの少年団では植林や植樹、柳津小学校のふるさと農業少年団では学校近くに農地を借り、色々な野菜等の収穫を通して、自然を愛する子どもを育てようとしていたと思う。 自然を愛する、自然を理解する、津山の良さを理解できるように教育を進めてもらえれば、子どもたちが将来社会に出て、自分の故郷への思いを忘れないように育っていく。 人の命を大切にすることを育ってほしい。 農業や森林のことは、非常に良いこと。 歩く子どもがいなくなり、体力的な心配も出てくると思う。 体力づくりの基本的な考えで、元気な子どもを育てたいということもある。 心身ともに健康で、心豊かでたくましく生きる子どもの育成 進んで学ぶ子ども 自主性を育成する。 思いやりのある子ども。 お互いを思いやり、尊重し合う子どもに育ってほしい。 子どもたちが生き生きと学ぶ学校 あいさつや笑顔あふれる学校 家庭、学校、地域が三位一体となって、取り組んでもらい、地域に信頼され、愛されるような学校を目指してほしい。 津山太鼓や獅子舞など、一つの伝統を残せるようなかたちをつくってほしい。 子どもたちが、のびのびとそういったことができる環境をつくれるような学校になってほしい。 安心して通える学校で、地域の伝統や歴史を勉強しつつ、自然の中で元気に育てるような学校が良い。